

# おち町

№122

2017 (H29) 11/1  
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



9月定例会

位置について、よーいドン 10/7(3面参照)

- 6P 使い道を徹底検証 (28年度決算)
- 15P 補正予算の一部修正動議は否決
- 18P 防災対策、町長の政治姿勢など7人が問う (一般質問)

# ピックアップ

## 地震時の火災防止を推進



### 感震ブレーカー購入に345万円

地震火災対策の重点推進地区（2区～10区）の全世帯を対象に、大地震発生時に通電を遮断する簡易型の感震ブレーカーを購入し配布される

## 一般会計補正1億6927万円

9月定例会は、8日から13日まで開き、平成28年度各会計決算10件、専決処分4件を全会一致で認定・承認。平成29年度補正予算、商店街活性化拠点施設条例の制定、日ノ瀬キャンプ場管理棟建築他工事と造成工事の請負契約締結など12件を可決しました。

### 修正案は否決 熱中小学校立ち上げ業務費削減

武智龍議員ほか1人が提出した、一般会計補正予算から熱中小学校立ち上げ業務費を削る修正動議〔12・13・15面に関連記事〕は、賛成3・反対5で否決しました。

議員提案の「全国森林環境税」の創設に関する意見書〔17面に関連記事〕を全会一致で可決し、一般質問〔18面から〕は7人が防災対策・町長の政治姿勢などの町政課題について執行部をただしました。

## 29年度補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	1億6927万円	55億9816万円	賛成多数
特別会計	簡易水道	△369万円	賛成全員
	下水道	△345万円	
	国民健康保険	△300万円	
	介護保険	1128万円	
	後期高齢者医療	△901万円	
横倉山自然の森博物館	7万円	2718万円	
水道会計	204万円	5111万円	

# 一般会計

Contents No.122 Nov 2017

## 2 29年度補正予算 ピックアップ

28年度決算

4 道路整備交付金事業に  
6億1081万円

決算審査会

6 使い道を徹底検証

議案審議

12 熱中小学校立ち上げ業務で議論

15 補正予算の一部修正動議  
を否決

17 広報研修報告

17 「全国森林環境税」の創設に関する  
意見書

7人が一般質問

18 防災対策・町長の政治姿  
勢など

25 広域議会

26 連載：若者登場

# 補正予算

## 住宅被害の軽減に補助



耐震改修設計費366万円  
改修費に1470万円

地震発生時の住宅の倒壊等による被害を軽減するための耐震改修設計費・改修費が追加された

## 路線バスが新車になる



町民バス車両購入に420万円

宮ヶ奈路～越知～桐見川間で使用されている(有)黒岩観光の路線バスが14人乗りになる

### 今号の表紙



10月7日に幼稚園の運動会が行われ、跳び箱競技では見事なジャンプが見られました

28年度一般会計歳出決算49億5772万円

# 道路整備交付金事業に6億1081万円

監査委員意見・要旨(須内康仁・寺村晃幸)

## 一般会計

### 徴収率が向上

前年度に比べ歳入では、繰越金、ふるさと応援基金繰入金などで6730万円の増額となった。歳出ではキャンペーンサイト整備計画等設計委託、道路台帳更新業務などで1億4073万円の増額決算となった。

町税収入は、4億7791万円で859万円の増。収入未済額は、徴収率が向上し619万円の減となった。

今後も財政運営は非常に厳しい状況にある。

## 水道会計

### 有収水量率が向上

有収水量率が84・7%と前年度より4・2%向上した。

引き続き漏水対策に努めてもらいたい。

### ●有収水量率

水道貯水池から配水した水量と実際に使用された水量との比率。

## 平成28年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出	
一 般 会 計	50億8914万円	49億5772万円	
特別会計	簡 易 水 道	2億1238万円	2億330万円
	下 水 道	1億8465万円	1億8454万円
	国民健康保険	8億8192万円	8億8178万円
	介 護 保 険	10億7122万円	10億4531万円
	後期高齢者医療	1億1488万円	1億1298万円
	土 地 取 得	2507万円	2507万円
	蚕糸資料館	21万円	21万円
	自然の森博物館	2099万円	2099万円
	水 道 会 計	5892万円	4934万円
合 計	76億5938万円	74億8124万円	

## 下水道会計

今後も加入促進を

水洗化率は28年度末で58・6%（前年度57・5%）と向上した。

今後も加入促進を重要課題と位置付けて、引き続き努力を望む。

## 国保会計

過去最高の徴収率

現年分は、過去10年間で最高徴収率の97・2%（前年度95・8%）過年度分も2番目の徴収率となった。

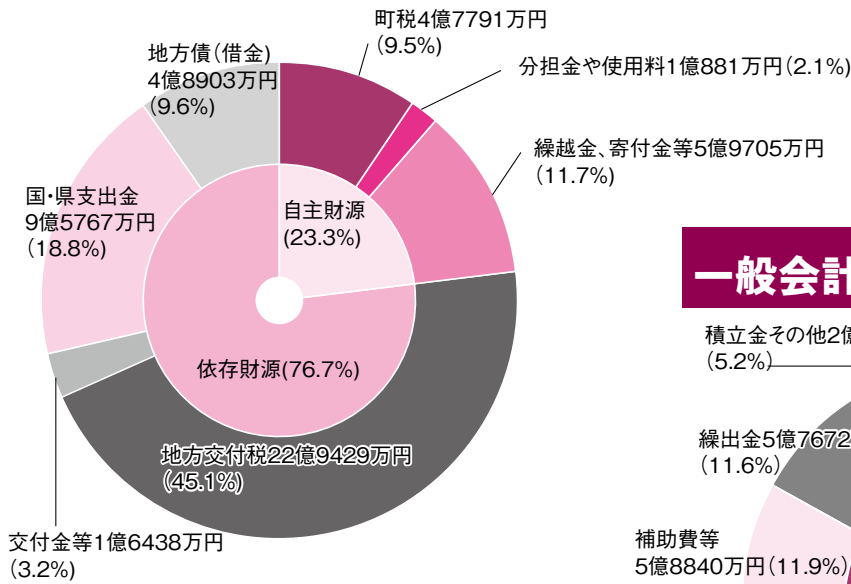


ふるさと納税を活用しゲストハウス「縁」に五右衛門風呂が完成した(谷ノ内)

# 町民1人当たり85万円の支出

(29年3月末現在人口5858人)

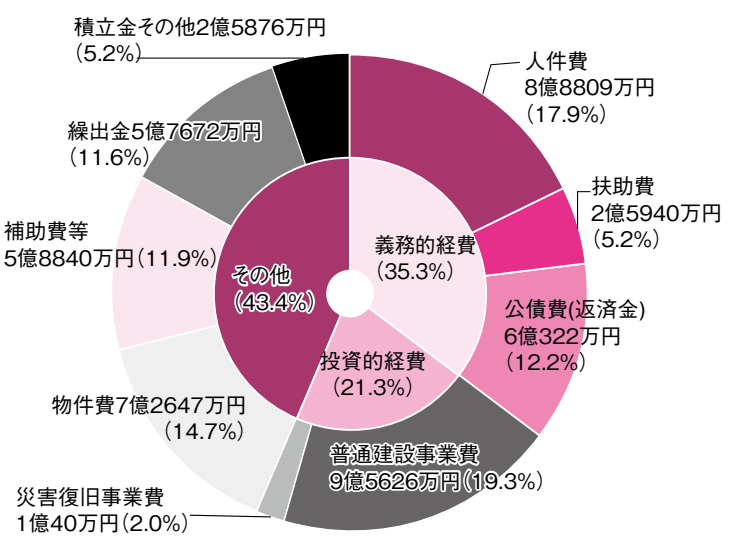
## 一般会計歳入50億8914万円



**町債(借金)** 残額61億9514万円  
(対前年7103万円の減)  
**基金(預金)** 残金18億2654万円  
(対前年1億3914万円の増)

28年度の各会計決算と基金の運用状況は、9月定例会で審議し、全ての会計を全会一致で認定しました。  
【審議内容は6〜11面】

## 一般会計歳出49億5772万円



財政の健全化判断		
指標	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	6.7%	25.0%
将来負担比率	34.4%	350.0%

28年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、赤字や資金不足は生じていない。今後とも財政状況は厳しく、数値が悪化しないよう安定した財政運営が求められる。

基準を下回り『健全』

町財政の健康診断

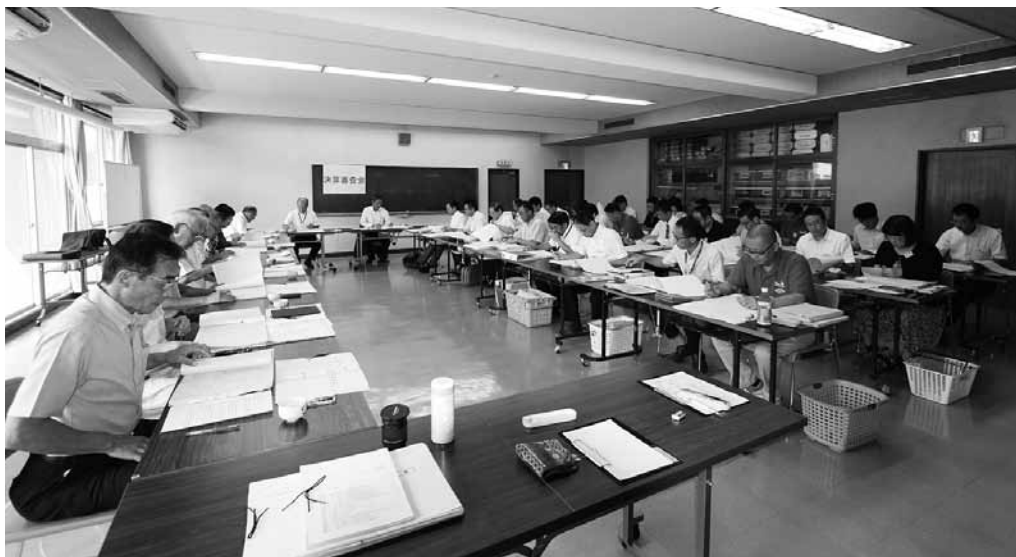
**用語(指標)の説明**  
●実質赤字比率 普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合。  
●連結実質赤字比率 町の全会計の標準財政規模に対する赤字の割合。  
●実質公債費比率 町の標準財政規模に占める借金返済の割合。  
●将来負担比率 町の標準財政規模に対する将来支払う負債の割合。350%以上で早期健全化団体となり、財政健全化計画の策定が義務付けられる。  
※標準財政規模 補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。

経営健全化判断		
会計名	資金不足率	健全化基準
水道	不足なし	20.0%
簡易水道	不足なし	20.0%
下水道	不足なし	20.0%

# 28年度決算審査会

## 使い道を徹底検証

【賛成全員で認定】



決算審査会は審議内容の幅が広いので、係長以上の幹部職員が出席する

28年度の決算認定に係る決算審査会は、9月11日に全議員が出席して開催し、執行部に對しお金の使い道の徹底検証を行った。

### 【以下は質疑の内容です】

#### 【一般会計】

##### 総務課

##### 住宅使用料

未納者は同じ人か

**山橋** 未納者数で、昨年と比べたら単独住宅が2、公営住宅が16、若者住宅が1だが同じ人か。

同じ人だ

**織田総務課長** 28年度の決算は同じ人だ。

**山橋** 単独住宅は、28年度分が増えているのか。

**織田総務課長** 28年度分が増えている。

**山橋** フォレストタウン越知の未納者が、1人から3人になっているが、どうなっているか。

**織田総務課長** 決算時点において、口座引き落としの人が未納となっていたが、現時点では全て完納になっている。

ちゃんと話をしているのか

**山橋** 未納者があるが、入居時に家賃を毎月ちゃんと払ってくださいますか、話をしているのか。

入居時にきちんと話をしている

**織田総務課長** 入居時には、まず保証人と敷金を入れてもらい、家賃の納付方法、口座振替などは文書でも渡し、きちんと話をしている。

#### 住宅管理業務

業務内容は

**武智** 公営住宅管理代行業務334万円の内容は。

修繕を含む管理

**織田総務課長** 県住宅供給公社に修繕を含む管理を委託しており、365日、24時間体制となっている。



使用されなくなった住宅用地の活用が今後の課題だ(西ノ芝団地)

## ふるさと納税

### 業務内容は

**武智** プロモーション支援業務の内容は。

**織田総務課長** ふるさと

チヨイスのホームページに載せてもらうもので、寄付金額の2%が委託料になる。

(株)トラストバンクが運営しており、現状ではふるさと納税のサイトの中では、日本最大である。

### 返礼品が載っているか

**武智** 本町の返礼品のアイテムは載っているか。

### 返礼品の全メニュー

**織田総務課長** 返礼品の全メニューもあるし、寄付をどのような事業に使ったかの報告だ。

ゲストハウス「縁」のクラウドファンディングの活動とその寄付を募る呼びかけなども行った。

### 使い道は

**武智** ふるさと寄付金と応援基金の使い道が分かりづらい。

### 来年度に作る

**織田総務課長** どの事業に充てたのか、分かる資料を来年度の決算時に作りたい。

## 町史作成業務

**山橋** 町史(続編)作成業務443万円とあるが、

28年度で終了か。全戸配布するのか、有料か。

**織田総務課長** 27年度から始め、30年度に終了し

有償で販売する。



ふるさとチョイスのホームページに季節の野菜セットが紹介されている

## 建物災害共済金

### 火災の保険金か

**山橋** 公有建物災害共済金303万円は、西庁舎の火災の保険金か。

### 大雪被害の保険金

**織田総務課長** 28年1月の大雪で、旧横島小学校、柴尾集会所、越知小体育館などの樋が壊れた修繕に対する保険金だ。

## 危機管理課

### 地震火災対策

#### 内容は

**市原** 地震火災対策計画策定業務700万円の内容は。

### 2区から10区の計画

**上田危機管理課長** 県が2区から10区までを地震火災重点推進地区に指定している。

木造住宅密集地域になるので、火災の発生や道路が通行できないことによる対策を計画した。

### 応急機能配置

#### 業務の説明を

**市原** 応急機能配置計画策定業務の説明を。

### 地震発災後の計画

**上田危機管理課長** 南海トラフ地震発災後に住民の命を守り、助かった命をつなぐために、救出や救助、応急対応活動等の体制を早期に確立することを目的に計画した。

災害発生時には、町内の各施設が活動拠点施設、避難所、医療救護所、物資集積所、災害ボランティアセンター等となる。

## 企画課

### 需用費の不用額

#### 不用額の内容は

**小田** 企画振興費の需用費が予算に対して約45%強の412万円が不用額になっているが、内容は。

### 協力隊の活動費

**中内企画課長** 大半が地域おこし協力隊の活動費で、未執行となった。

## 企画課

### FDスポーツで まちづくり推進

どんなことをしたのか

**武智** この業務で成果品を見たことがないが、どんなことをしたのか。

**中内企画課長** 高知ファイトイングドッグスに委託し、本町のまちづくりの方向性をまとめたもので、44ページの報告書となっている。

**武智** どんな内容のものをやるのか。

### スポーツ合宿の誘致

**中内企画課長** マスタープランは本町のスポーツの現状を捉えて分析している。

スポーツ合宿の誘致の拡大、韓国やアメリカを

中心に、町内の空き家の利用を想定した民泊施設の整備を進める計画となっている。

球団のウェブサイトや広報を通じて、情報発信や民泊予約をする予定。

### スノーピーク プロモーション

**武智** 700万円は金額も大きい内容が。

### グランピング食堂など

**中内企画課長** グランピング食堂、仁淀川移動水族館、たき火トークやパネルディスプレイなどを行った。

30年春のキャンプ場オープンを前に、町民がアウトドアの楽しさを体験してお客さんを迎え入れたいという趣旨。

### 成果があったか

**武智** どんな成果があったか、単年度のもののか。

### 全国にPRできた

**中内企画課長** テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などマスコミを通じ全国にPRできた。引き続き行いオープンを迎えたい。

### テレビ番組放送

**武智** PR番組制作とテレビCM放送で1千20万円だが、テレビ局、対象と期間は。

### PR番組2本

**中内企画課長** RKCプロダクションが制作し高知放送で放送している。

「輝けおち家の子どもたち」と題して、教育施設や人づくりの取り組みと「清流仁淀川にみる夢は」として、地域おこし協力隊にスポットを当て、観光、移住促進の取り組みや町の魅力を紹介した。

### CM番組5本

天気予報の中で、「よコジロー」が大樽の滝に出てるものと、15秒CMで川遊び編、夏休み編、コスモスまつり編、イルミネーション編、ほんぼりまつり編の5パターンを制作し、その時季に放送をする。

**武智** 全て県内を対象か。

### 全国放送をした

**中内企画課長** 「清流仁淀川にみる夢は」の番組は、BS日テレを使い全国放送をした。

## 産業課

### 食肉センター

**西川** 広域食肉センター事務組合負担金30万円の負担割合は。

**田村産業課長** 国勢調査の人口比率によって割合が決まっており、全市町村で2746万円になっている。



ボルタリングの体験もできた(宮の前公園)



**畜産農家巡回**

**西川** 畜産農家巡回指導の6万円の内容は、獣医はいるか。

**田村産業課長** 発情、妊娠関係、育成指導や去勢など畜産農家を巡回している。

中央と西部家畜保健所の獣医、JA担当者の3人体制で当たっている。

**有害鳥獣対策**

**山橋** 有害鳥獣被害対策事業564万円は、前年度と比べて300万円ぐらい少ないが、有害鳥獣が減ったのか、狩りをする人が少なくなったのか。

**田村産業課長** 前年度と比べてイノシシの頭数が100頭以上減ったのが大きな原因だ。

**建設課**

**町道下渡線**

**土地代の内容は**

**高橋** 町道下渡線待避所設置工事に伴う土地代305万円の内容は、

**待避所を新設**

**前田建設課長** 越知郵便局から北に入り下渡の方に約300メートルの所を待避所にするため購入した。

実測面積が、109・36平方メートルで所有者は1人。



待避所が設置されると通行がスムーズになる(3区)



谷ノ内藤田希望公園で作業班が活躍する

**重機等作業員**

**単価と稼働日数は**

**武智** 重機等作業員594万円の単価と稼働日数の説明を。

**前田建設課長** 常時雇用2人、臨時的に雇用するものが1人。

実働として、常時雇用の1人が255日、もう1人が165日の出勤で単価は1万3700円。

臨時的作業員の出勤は35日で、単価は8500円になっている。

**残土処理仮置場**

**土地代の内容は**

**小田** 楠神の残土処理仮置場の借上料50万円の内容は。

**前田建設課長** 26年度から町の残土場が足りなくなり、臨時的に月10万円で5カ月借りた。面積は1591・21平方メートル。



現在も仮置き場として活用されている

保健福祉課

臨時福祉給付金

受け取った人数は

小田 対象人数と実際に受け取った人数は。

合計2758人

結城保健福祉課長 3万円の分は、対象者が1362人に対し1251人で、3千円の分は1797人に対し1459人。障害者遺族年金向けが49人に対し48人で、合計2758人となっている。

フォローをしたのか

小田 受け取らなかったのか、フォローはどのようにしたのか。

結城保健福祉課長 対象者には事前に通知し、申請をしない人には電話で催促をした。



臨時給付金の申請場所となった保健福祉課

今後してほしい

小田 全員が受け取れるよう今後もフォローをしてほしい。

未払いは繰り越し支給

結城保健福祉課長 未払いの分は、29年度に繰り越し4月から7月に支給した。

今回は2週間くらい担当が夕方ずっと電話で勸奨をした。

出納室

ソニア分配金

株券はゼロになるか

山橋 (株)ソニア残余財産分配金で681万円の雑入があるが、町が出資していた3億4500万円の株券はゼロになるか。

西川会計管理者 ゼロになる。決算認定後に処分する。

教育委員会

給食費負担金

昨年より増えているが

山橋 未納が、人数・金額とも昨年より増えているが説明を。

原因は把握していない

谷岡教育次長 未納は11世帯17人分だが、増えた原因は把握していない。

払わないのか払えないのか

山橋 支払い能力があるのに払わないのか、それとも払えないのか。

払えないとは思えない

谷岡教育次長 払えないとは思えない。

現在、滞納繰越分はない。現年分は、児童手当で徐々に徴収している。

砂加熱殺菌処理

効果の持続性は

小田 保育園、幼稚園の砂場は屋外にあるが、その効果と持続性はどうか。

毎年同じサイクルで

山中教育長 加熱殺菌し、その後イオン処理をする。年間何回かの処理をしており、それを毎年同じサイクルで続けていくことになる。



加熱殺菌処理により安心して遊べる

## 【特別会計】

### 環境水道課

### 水道会計

**山橋** 有収水量率 84・7%と前年度より4・2%も上がっており、監査委員からも称賛されている。

事務職員1人、技術職員1人で漏水対策や修繕をしているのか。

**岡田環境水道課長** 日常

の施設の点検は、週1回技術職員等の2人で点検している。

5年に一度くらいの間隔で、業者に漏水調査を委託している。

### 災害時の対応は

**山橋** 災害が起こった時を心配するが、技術職員以外にも行くのか。

細かく詰めていきたい

**小田町長** 水道施設が地震時にどうなるか議論しており、全体的な体制の中で、非常に難しさもあるが今後細かく詰めていきたい。

### 住民課

### 介護保険会計

**市原** 新予防給付ケアプラン作成の内容と人数は。

**國貞住民課長** 介護保険適用外の人と、要支援1、2の人が対象で新しい総合事業のケアプランを作成するもの。

対象者は81人いる。

**市原** どんな事業を受けられるのか。

**國貞住民課長** 新しい総合事業で、訪問サービス、デイサービス、通所サービス、福祉用具のリースや住宅改修などがある。

## 【付属書類】

### 産業課

### 出資金

毎年出資しているのか

**山橋** 県農業信用基金協会出資金15万円は、毎年出資しているのか。

**田村産業課長** 毎年出資している。

新規就農者の支援、担い手の規模拡大等に、JAと行政が協力するもので、保証率残高割合と経営農地面積等による出資となる。

## 【議会費】

### 決算額の割合は

### 議会費

**山橋** 一般会計の決算額合計が49億5772万円となっており、議会費の割合は。

**織田総務課長** 議会費の構成比は1・0%だ。

の割合は。



相談窓口となる地域包括支援センター（住民課内）



議員報酬は県内でも最低水準だ

# 業務で議論白熱

【2・15面参照】

## 事業概要

**熱中小学校の名称が使えるのか**

### 齋藤議員

熱中小学校と

いう名前は全国各地にあり、その事業をそっくりそのままやるような説明だったが、事業主体が違って熱中小学校の名称が使えるのか。

## 内容は同じ

### 中内企画課長

山形県高

島町は、過去のテレビドラマにあやかり熱中小学校にしたと聞いている。

連携はするが、本町に拠点を置き、県内全域から生徒を募集する事業だ。

## 団体は別なのか

### 齋藤議員

本町では計画

書を作る団体と事業運営団体とは別なのか。

**中内企画課長** 予算は立ち上げの準備委託で、今後の運営は別になる。

## 受講者の見込みは

### 武智議員

受講者の見込みはどれくらいか。

**中内企画課長** 70人ぐらいを考えている。

調査したわけではないが、町内は半分ぐらいと思っている。

## 予算の使い道

### どのように使うか

### 高橋議員

業務委託料は、どのように使うのか。

## PR動画制作など

### 中内企画課長

全体のコー

ーディネイト費用とロゴ制作費、PR動画の制作費、デザイン料、資料作成費などである。

## 委託先はどこか

### 武智議員

民間組織等による運営で、卒業する協

力隊を想定していると説明があったが、立ち上げの委託先はどこか。

## 現在検討中だ

### 中内企画課長

随意契約

にするか公募による提案型にするのか検討中だ。

## 町内もあるのか

### 武智議員

随意契約、公

募いずれの場合でも、町内から応募する委託先が想定されるか。

## 町内も含め検討

### 中内企画課長

町内も含

めて幅広く検討したいが、現在のところ決まっていない。

## 議会説明のあり方

### 町民からの話か

### 武智議員

この話は、町

民あるいは区長さんから要望があったのか。

## 別になる

### 中内企画課長

町民から

話があったわけではない。

## 議会も責任がある

### 武智議員

町外の人と交

流で活気づくということには100%賛成だが、通販部門は、まだ20品目ぐらいだ。

議会も責任があるので、何のためにという狙いの説明を受けずに予算を通すことはできない。



とくしま上板熱中小学校の授業風景

# 熱中小学校立ち上げ

## 委託料299万円

### 交流人口の拡大

**中内企画課長** 熱中通販を磨き上げて、そこから自立していく仕組み作りを考えなければならない。一流の講師陣が本町に来るのが第一、学習意欲のある人が集まることで交流人口の拡大、産業振興や新たなプロジェクトが起る期待もある。

### つながりが魅力

**國貞副町長** 町内にもいろんな商いやアイデアを持つている人がいる。いろんなジャンルの講師とのつながりから物事が生まれていく魅力を感じている。

### これまでにない形

**小田町長** プロの話を身近で聞くこれまでにない形である。キャッチボールができることは非常にメリットがある。

### 話はいつきたのか

**武智議員** この話はいつきたのか。

**中内企画課長** 29年4月に入ってからだ。

### 調べたのはいつか

**武智議員** 担当者が徳島の上板町を調べたのはいつか。

**中内企画課長** 7月8日

上板熱中小学校を視察に行った。

### 議会へ相談すべき

**武智議員** 8月8日の全員協議会で相談すべきではなかったか。

### 手を尽くしたい

**小田町長** 8月8日の段階で説明ができなかったことはお詫びしなければならぬ。

11月に交付決定を受け、それ

までに議会の皆様にきちんと腹に入るように手を尽くしたい。

### 意思疎通を

**武智議員** 新たな事業をする場合は、全員協議会を設けて事前に勉強会を開き意思疎通をしてきたが、なぜ9月8日まで話を出してこなかったのか。

### 提案が遅くなった

**中内企画課長** 上板熱中小学校の視察や高島町の担当者とのヒアリングを繰り返してきた。

本町でできるかを確認し、できる方向が見えてきたのが最近のことです。提案が遅くなった。

### 真摯に受け止める

**小田町長** 議員の皆様にご理解いただくには、時間が少なかつたと思う。

真摯に受け止め、このようなことがないようにしたい。

### 議会軽視では

**武智議員** 予算の提案と同時に説明をするのは乱暴で議会軽視ではないか。どうしても今回通さなければいけないのか。

### 早い方がいい

**中内企画課長** オープンスクールをして、現在の地域おこし協力隊の受け皿にするには、少しでも早い方がいいと思う。

### 判断材料が乏しい

**武智議員** 行政には執行する責任が、議会には議決する責任がある。

町長、職員を信用しない訳ではないが、判断材料が乏しいままで議会が決断した場合大変なことになる。

ある意味責任放棄になりかねないと思うが、12月では遅いのか。

### 事業を長くしたい

**中内企画課長** 国の地方創生交付金の残りの年数が4年半であり、できるだけ事業を長くしたいと思っている。

### 深く反省して

**齋藤議員** 議会と執行者の信頼関係を築くため、事前に情報を共有することが重要だ。

議会の開会日に聞いて、明日決済をくれみたいなのがまかり通るようなことがないように、深く反省すべきだ。



企画課

横島西部公民館  
改修設計委託料  
378万円

小田議員 横島西部公民館改修設計の内容は。

校舎の改修

中内企画課長 校舎の改修を考えており、調査・企画業務、基本設計、実設計をする。  
トイレ、調理室、宿泊など実行委員会と設計業者で煮詰める。



毎週水曜日の7時から11時まで喫茶がオープンしている

総務課

自治体連携感謝祭  
会場借り上げ料  
11万円

高橋議員 ふるさと納税大感謝祭会場借り上げ料の場所と内容は。

織田総務課長 11月3日から5日に東京有楽町で、本町も加入しているふるさと納税自治体連携が実施する会場借り上げ料だ。佐川町など県内7団体で、案分した当町の負担分である。



9月2～3日に開催された大感謝祭にも参加した

産業課

シカ捕獲推進事業補助金  
86万円

山橋議員 有害鳥獣の被害対策補助金とは違うようだが内容は。

くくりわなを促進

田村産業課長 県内でシカの被害が深刻になっている。

わなの免許を有し、県の狩猟者登録を受けている人に対し、1人当たり2万円を上限にくくりわな購入を促進してシカの被害に対応する。



本町でもシカによる農林産物への被害が出ている

# 補正予算の一部修正動議は否決

熱中小学校立ち上げ業務費299万円

(賛成3・反対5)

一般会計補正予算から委託料299万円を削減する修正動議は、質疑・討論はなく採決の結果、賛成3人・反対5人で否決しました。

修正案発議者

武智 龍、山橋正男

熱中小学校は、執行部の目的や運営に対する計画性が不透明で、未知のことが多く判断材料が乏しい。

予算案は、こうした点を十分理解し納得した上で判断すべきであり、企画振興費のうち、熱中小学校立ち上げ業務299万円の削減を求める。

反対	賛成	修正案に対する賛否
市原静子 高橋丈一 齋藤政広 西川 晃 寺村晃幸	武智 龍 山橋正男 小田範博	

## 商店街のにぎわい創出

企画課

条例の制定

1階にチャレンジショップ・コミュニティスペース

2階に多目的交流フロア 商店街活性化拠点施設条例

商店街のにぎわい創出や町内で独立開業を目指す新規創業者等の支援、地域住民の交流促進による町全体の活性化を図る。  
《賛成全員》



改修工事が完成間近となった西町商店街の拠点施設

# 日ノ瀬キャンプ場30年春オープン目指す

企画課

## 入札結果

入札日 平成29年9月7日		
業者名	入札金額(税抜き)	備考
(株)開洋	334,906,000円	落札
(有)大成システム	338,700,000円	
四国開発(株)	376,000,000円	
(株)上岡工務店	376,200,000円	
小松建設(株)	376,298,000円	
(株)晃立	334,000,000円	失格

## 日ノ瀬キャンプ場管理棟建築他工事

入札の方法 指名競争入札  
 契約金額 3億6169万8480円  
 契約相手 (株)開洋 濱田幸一  
 工事場所 日ノ瀬  
 工事内容 管理棟、炊事棟、サニタリー棟  
 ウッドデッキの新築工事他  
 工 期 平成30年3月30日まで  
 《賛成・全員》

質疑

齋藤議員

管理棟のすぐ

川沿いの結構長い距離に、  
 ヒラドツツジを植えるこ  
 とになっている。

これは大変大きくなり、  
 のり面で剪定するのは危  
 険、将来の維持管理の配  
 慮が必要じゃないか。

計画ありきでない

小田町長 この植栽計画  
 ありきではない。適性や  
 地元らしさに少しこだわ  
 ってみたい。



9月25日に行われた起工式には、議員も出席した

## 入札結果

入札日 平成29年9月6日			
業者名	評価値	入札金額(税抜き)	備考
(有)片岡組	16.8238点	63,600,000円	落札
(有)吉村土建	16.4615点	65,000,000円	
織田建設(有)	16.4062点	64,000,000円	
(有)大幸建設	16.3328点	64,900,000円	
(有)横畠建設	16.2595点	65,500,000円	
(株)高橋組	16.2100点	65,700,000円	
(有)藤原工務店	16.1339点	65,700,000円	
(有)山西建設	15.2985点	67,000,000円	

## 日ノ瀬キャンプ場造成工事

入札の方法 指名競争入札(総合評価方式)  
 契約金額 6868万8000円  
 契約相手 (有)片岡組 片岡大介  
 工事場所 日ノ瀬  
 工事内容 施工延長L=120m  
 練ブロック積A=484㎡  
 補強土壁工A=604㎡  
 ガードレールL=17m  
 工 期 平成30年3月30日まで  
 《賛成・全員》

造成工事完成後にコンテナ型の  
 宿泊棟10棟が並ぶことになる





# 電子広報への対応 新たな課題

9月29日 全国町村議会広報研修会でみっちり研修

議会だより編集委員5人は、9月29日、東京平河町の砂防会館で行われた「町村議会広報研修会」に参加し、2日間みっちり研修してきた。



真剣に取り組んだ研修会の様子

## 演習を交えた講義

研修は3部構成で行われたが、最も興味深かったのは、紙媒体の広報紙だけでなく、「電子広報」への対応が求められることだ。

第1部は、基本とも言える文章作成がテーマだったが、短文にするための演習を交えた講義は非常に役立った。

## 2年ぶりの貴重な研修

この研修会は、毎年行われているが、本町議会は2年に1回参加しており、編集委員にとっては、技術の習得は勿論、新しい知識を得るための大変貴重な場となっている。

## 電子広報への対応

第2部は、広報紙と電子広報の融合。

最近、高齢者にもスマホが普及したため、インターネットなどによる議会中継や録画配信を導入する議会が増え、場所や時間を問わず議会の様子が動画で見られる。

本町議会は、中継や録画配信はまだやっていないので、スマホ利用者の皆さんにとって、議会は縁の遠い存在かもしれないと気付かされた。

## 意識改革の遅れ実感

第3部は、「議会広報全国コンクールでトップ2に輝いた広報紙から学ぶ」というテーマだった。2町とも、議会と町民が共に歩む姿勢で、取り組まれていることが分かった。

本町議会だよりの動画配信も事例紹介されたが、たくさん事例を見て、議会そのものの改革や電子媒体に対する意識改革の遅れを実感した。

## 成果はすぐに生かす

まずは、私たち自身が、今回の研修成果を広報紙の充実のみならず議会改革へとつなげ、新しく有権者となった高校生など若者をはじめ、町民の皆さんから信頼され、共に歩む議会にしていきたい。



おち町議会だよりNo121の事例も取り上げられた

本議会がスマホで見える。  
(長崎県長与町議会)



## 意見書

9月定例会に提出された1件を全会一致で可決し、関係機関に出しました。

## 「全国森林環境税」の創設を

提出者 西川 晃議員

市町村が主体となって実施する森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

《賛成・全員》

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、衆参両院議長他

# 一般質問

## ズバリ! 町政を問う

西川 晃・18ページ

- ① 災害対策
- ② 学童保育

小田 範博・19ページ

- ① 町道の修繕系工事と維持管理状況
- ② 南海トラフ地震に備えた町づくりの推進

武智 龍・20ページ

- ① 町民バスの待合所
- ② 高校生ボランティア
- ③ 若者流出防止対策
- ④ 6次産業化の推進
- ⑤ 地震災害発生後の対応

斎藤 政広・21ページ

- ① 財産の管理
- ② 介護保険

市原 静子・22ページ

- ① 地籍調査
- ② 移動期日前投票所
- ③ 県道の電光掲示板

山橋 正男・23ページ

- ① 働く場づくり
- ② 移住・定住
- ③ 体験型観光

寺村 晃幸・24ページ

- ① 防災行政
- ② 文化財の保護
- ③ 町長の政治姿勢

### 災害対策

**避難路の事前対策は  
マニュアルを作っていく**

危機管理課長



**問** 近年、想定外の地震、豪雨により各地で甚大な被害が出ており、尊い命や財産、生活が奪われている。町外から移住してきた人々の安心安全のため、避難路など事前対策は、

町外から移住してきた人々の安心安全のため、避難路など事前対策は、

**上田危機管理課長** 地域

防災計画は、避難所の確保、整備すべき路線の設定のみだ。

住民の意見を聞き、土地勘のない人も安心して避難できるマニュアルを作っていく。

危機管理課長

**災害ごみの受け入れ**

**問** 谷川からの土砂や流木、また災害ごみの受け入れなどの事前対策は、

**前田建設課長** 観測史

上最大とか50年に一度の豪雨災害などに備え、県による急傾斜地崩壊対策事業などを行っている。また、県が行っている特別警戒区域の調査が終わり次第、防災計画、情報提供、避難体制の整備を検討していく。

### 学童保育

**保育料は今のままか  
引き上げの考えはない**

教育長



冬場暗かった学童保育室がLEDで明るくなる

**問** 学童保育の現状は。保育料は今のまま維持できるか。

**山中教育長** 1年生から5年生まで合計43人で、特別支援の児童はいない。通常の指導員は3人で、夏季休業中は4人。休日などは実施していない。時間は下校時から5時半までで、ほとんどの児童が宿題をするようになった。

昨年度の調査では52%が満足と回答し、期間、料金、指導員など本町が一番と書いた人もおり、これからも向上を図っていききたい。

料金は月額4000円で引き上げの考えはない。

### 照明をLEDに

**問** 保育室の照明は十分か、LEDに変えることはできないか。

**山中教育長** 学童保育室はオープン教室で検査はしていないが、確認したところ暗い状況で、補助制度もあり今回LEDを設置する予定だ。

照明をLEDに



小田範博 議員

町道

修繕系工事と維持管理状況は  
優先順位を付けて整備  
建設課長

**前田建設課長** 舗装や側溝改修工事から橋の修繕系工事に予算がスライドすると思われるので、厳しい状況になることが想定される。

**問** 道路の修繕系工事は多額を要するので、国や県の補助金が不可欠な財源となるが、今後の修繕系交付金の見通しは。

交付金の見通しは

**前田建設課長** 優先順位を付けて年間200から300メートル単位で修繕している。今後も地域の声を大事にして整備を検討する。

**問** 町道本村薬師堂線の薬師堂、袖野、本村の集落内はほぼ改修できているが、手付かずの区間もある。  
**前田建設課長** この道路は本町の幹線道路の一つであり多くの人が利用している。側溝と路面改修状況と今後の計画は。



集落間では側溝と路面の段差が危険(本村～薬師堂)

**前田建設課長** 今までは、各地域の道作りなどは、

**問** 業務委託していない路線の管理も大事だが、今後の取り組みは。

**前田建設課長** 町道29路線、林道2路線の巡回調査、草刈り、側溝清掃、舗装修理、土砂取り除き等を委託している。

**問** 維持管理を業務委託で行っている路線数と業務内容は。

維持管理の内容は

**前田建設課長** 通行に支障がある箇所を調査し、所有者の承諾を得た上で高刈り等を行う。

**問** 町道今成深瀬線は山側の支障木が多く、雨の日などは昼間でも薄暗い状況となっている。  
道路に覆いかぶさり通行に支障をきたしているが、今後の対応は。

で対応できていたが、過疎・高齢化により厳しい状況となっているので、要請があれば対応したい。

南海トラフ地震対策

耐震性貯水タンク等の設置状況は

耐震性防火水槽は9基

危機管理課長

**問** 耐震性の貯水タンクと防火水槽の設置状況は。

**上田危機管理課長** 耐震性の防火水槽は、地震火災対策として場所等も勘案して検討する。

**上田危機管理課長** 耐震性の貯水タンクの設置はなく、防火水槽は9基設置している。

貯水タンクは、高額な施設となるので補助制度、タンク容量、設置場所等を検討する。

**問** 震度7クラスの地震が起これば、水道管が至る所で寸断され、復旧まで相当の歳月を要すると思う。

**問** 家屋の耐震化業務の取り組み状況は。

町民の生命や財産を守るためにグラウンドや公園、道路の待避所等の地下に埋設する考えは。

**上田危機管理課長** 28年10月から戸別訪問を開始し、28年度は219件、29年度は8月までに92件で、今後も継続して行う。

耐震診断の実施状況は、28年度までに96件、29年度は30件である。

## 町民バスの待合所

### バス停に待合所を整備せよ

仕組みを作って整備したい

総務課長



武智龍 議員

**問** この質問は今回で3回目だが、70力以上ある停留所のほとんどに待合所がない。  
高齢者などは早めに家を出てバスを待つため大変苦労している。  
公平性や利用者の立場を考え、整備手法、デザイン、金額等ある程度統一したものになるよう制度を作って計画的に整備すべきだ。

**織田総務課長** 山間部の利用者はフリー乗降が多いが、ご意見を参考に新たな仕組みを作って整備したい。



起点となっているサンブラザ西側のベンチ付近

**問** 全路線の出発点になっているサンブラザは、多くの利用者が買い物やベンチで長時間待っている。  
町民以外の人の利用も想定され緊急度が高いが、待合所を早急に設置できないか。

**織田総務課長** サンブラザのベンチは、西日が差し、囲いがないのでお店と相談して待合所を設置したい。

## 高校生ボランティア 小学生の指導を サマースクールに

教育長

**問** 佐川高校の生徒数が年々減少しているが、来年度本町からの希望者はいるのか。

また、高校生にボランティアで小学生の加力指導をしてもらえば、長いつながりができ高校生の確保にもつながると思うが考えは。

**山中教育長** 来年度越知中学校からの希望者は6人だ。今後5人程度で推移していくと思う。

高校生ボランティアは、本人にとっても小学生にとっても大変良いと思うので、サマースクールでの指導を呼びかけたい。

## 佐川町に高校生の シェアハウスを

**問** 46人が利用している榑原高校の寄宿舎は、全員町外出身者で住民票も移し、地域活動にも参加するなど町にも貢献している。

山間地域では、高校進学時に家族ぐるみで転出する傾向にある。  
これを食い止めるため、各町が協力し、どの高校生も利用できるシェアハウスを佐川町に整備すれば、いろいろな効果が期待できるが、首長間で話し合っているかどうか。

**小田町長** 仮にシェアハウスができて、本町へのメリットはあまりないと思うが、子どもたちが本町に残れる手だては考えなければならぬ。  
県教委の考えも踏まえ、本会議で話が出たことを首長間で話してみたい。

## その他の質問

### 6次産業化の推進

**問** 本町の農産加工品が増えない原因は、共同で使える加工施設整備の考えは。

**田村産業課長** 実際に行う場所がないのが原因と思うが、施設の営業許可問題もあり関係機関と研究する。

### 地震災害発生後の対応

**問** 中学校体育館が実際避難所になった場合、生徒や先生の協力体制と訓練は。

**山中教育長** 生徒は弱者として守るべき対象で、ご指摘の協力体制づくりや訓練は行っていない。



斎藤政広 議員

## 財産の管理

# 中町駐車場の活用方法は イベントや休憩場所に 町長

一般質問

**問** 中町駐車場はどのよう  
に使われているか。

商店街の駐車場としての  
役割は少なくなつたと  
思うが今後の活用方法は。

**田村産業課長**

駐車場と  
しての機能だけでなく、  
防火水槽、防火施設、ト  
イレなどあり、防災面でも  
大変重要な施設である。

**小田町長**

町内に空きス  
ペースは必要なので、町  
民が活用できるイベント  
や立ち寄つて休憩できる  
ことを考えたい。

## テニスコートの利用

**問** 屋外テニスコートの  
利用状況は。

**谷岡教育次長**

屋外テニ  
スコートの利用は、26年  
度55人、27年度195人  
28年度52人である。

**問** 使われないコートの  
多目的な利用方法を研究  
してみてもいいか。

多目的な利用方法を研究  
してみてもいいか。

**小田町長**

5面のうち一  
部は残して、今後いざと  
いうときに利用できるな  
ど多目的に使えるよう考  
えたい。

## 照明を明るくでき ないか

**問** 町民会館の西側駐車  
場から通用口付近が暗い  
が、LEDに変えて明る  
くできないか。

**谷岡教育次長**

周辺の防  
犯灯、街灯も含め調査し、  
良い方法を考えたい。  
また、町民会館のLED  
化を計画している。

## 調査する

## 介護保険

# 新規認定者数は

28年度153人 住民課長

**問** 介護保険の現在の認  
定者数と施設入所者は。

**問** 制度改革があると聞  
くが。

**國貞住民課長**

29年7月  
現在、要支援81人、要介  
護1が103人、要介護  
2が112人、要介護3  
が97人、要介護4が97人、  
要介護5が99人で合計5  
89人となっている。

**國貞住民課長**

30年度は、  
介護報酬と診療報酬同時  
に改定の年であり、内容  
が明らかになるのは30年  
1月から2月ごろと聞い  
ている。

**問** 施設入所者は140人  
である。

**問** 制度改革に異議を唱  
えるとか、何か一石を投  
じるような動きはとれな  
いか。

**問** 毎年審査会があり新  
たに認定される人がいる  
が、一年に何人くらい認  
定されているか。

**小田町長**

市町村間で情  
報交換しながら、いろい  
ろな方面に要望する必要  
を感じている。

**國貞住民課長**

新規認定  
者は、27年度119人、  
28年度153人となつて  
いる。



ほとんど使われていない屋外テニスコート



市原静子 議員

## 地籍調査

### 進捗状況は

28年度末39.42%

産業課長

**問** 高齢化が進み思うように体も動かなくなり、境界を知る人が少なくなることを心配する声が多い。地籍調査の進捗状況と完了予定は。

**田村産業課長** 土地所有者の高齢化や不在化が進行し、耕作放棄や森林の荒廃等によって調査が困難になってきており、山間部から実施している。平成28年度末の県内の進捗率が54.4%、本町は39.42%。早期完成を目指し、組織を1班から3班集体制に見直して実施している。47年度完了予定。

**問** 他町村に比べ遅れている理由は。

**田村産業課長** 開始時期が仁淀川町は昭和56年、佐川町が平成3年、本町は平成8年で、近隣町より遅い。国や県からの補助金が2割から3割程度減額となり年々厳しい状況だが、

できるだけ事業費確保を目指し頑張っていく。

### 高齢者対策

#### 移動期日前投票所を

#### 課題を検証する

総務課長

**問** 投票所まで遠く、足を運ぶことが難しい高齢者が多い。

投票機会を確保するため、「移動期日前投票所」のできるワゴン車導入の考えは。

**織田総務課長** 投票所まで遠い地区が多々あるのは認識している。統合により4つの投票所が削減され、現在17カ所である。移動期日前投票は、画期的ではあるが、本体制の確保、二重投票防止、車両確保等研究する必要がある。利便性、投票率アップにつながるが、課題を検証する。

## 県道の電光掲示板

### すれ違いでの苦情が多い

### 引き続き要望していく

建設課長

**問** 県道18号線の片岡集落周辺は狭い所があり、車のすれ違いが難しく苦情が多い。

現状の電光掲示板では解決策は見当たらず、信号機の設置はできないかとの要望があるが、町として対策は。

**前田建設課長** 掲示板が設置された当時は大変喜ばれたが、現状では数々の苦情が寄せられている。その都度、県の越知事務所に点検と対策を強く要望している。

最近の対策として、越知側に2台の掲示板を設置し、センサーの位置調整をしている。

また、区間の中に待避所の設置を要望したが、地形や地質の関係で困難との返事であった。今後の安全対策として、「この先狭小箇所あり」の予告など、注意喚起を全面的に出せないものか、信号機も含め引き続き要望していく。



キャンプ場オープンに向け抜本的な改良が望まれる

# 働く場づくり

## 新規就農者数は

### 現在まで12人 産業課長

**問** 町長に就任して3年と6カ月が過ぎようとしている。

公約である産業を盛り上げ働く場づくりでの新規就農者の年齢層、作付の主なものは何か。

**田村産業課長** 26年度から現在まで12人。20代5人、30代3人、40代と50代が各2人。

その他、新規就農者にカウントされる農業法人への就職者が3人いる。



山橋正男 議員

主な作付けは、シヨウウガと薬草が各3人、かんきつ、ピーマン、有機野菜が各1人。

### 今後も継続するのか

**問** 新規就農者の助成金の内容は、今後も継続するのか。

また、耕作放棄地の再生利事業の成果は。

**田村産業課長** 助成金は研修と経営開始の2種類がある。

国の研修事業は、就農時45歳までで、最長2年間、年額180万円交付される。

県事業は、年齢制限は45歳以上65歳未満で、内容は同じだがどちらも申し込みはない。

国の経営開始型事業は、就農時に45歳までとなつており、現在6人が給付を受けている。最長5年間、年額最高150万円

で、前年の所得に応じ金額が変わる。

町独自の事業として、

年齢45歳以上60歳未満のふるさと就農給付金がある。最長2年間、年額75万円支給。

3件の相談があつたが申請者はいない。

**小田町長** 今まで申請はないが、国、県の制度も

実情に応じた形に変える可能性はある。

いざ、やりたい時に幅広い選択肢がなくなるので、しばらくこの制度を続けたい。

続けたい。

**田村産業課長** 耕作放棄地のうち、新規に使用権、

賃貸借の利用権の設定をしたものが、3年間で232筆、6・6ヘクタールである。

耕作放棄地の再生利事業の申し込みはない。

## 商店街活性化は

**問** 商店街活性化の取り組みと成果、また、関係団体との連携は。

**田村産業課長** 商工会と

協力し、国の緊急支援の交付金を受け、地元消費による地域活性化を図る目的で、5千円で6200円分使える越知町共通商品券5803万円分を発行した。

また、子育て世代には応援商品券8千円を支給した。総額は526万円。町内商工業者への経済効果、消費人口の流出減少、子育て世代の支援効果があつた。

**小田町長** 商品券は、国の政策と連動して行ったが、単独では財政的に厳しいものがある。

## その他の質問

### 移住定住

**問** この3年間で移住者は何組で何人か。

**中内企画課長** 123組、201人が移住した。

### 体験型観光

**問** 日ノ瀬清流公園の現在までの契約金額は。

**中内企画課長** トータルで約4億7600万円。



基幹作目のショウガの収穫が始まった

**防災行政**

**消防団・自衛隊・住民との防災訓練は**

**自衛隊側と調整中だ**

危機管理課長



寺村晃幸 議員



6月18日に行われた水防演習には議員も参加した

**問** 大規模災害を想定した消防団、自衛隊、住民一体の防災訓練を行う考えはないか。

**小田町長** 実行したいと考えている。南海トラフ巨大地震や台風豪雨災害が起こった際には自衛隊の支援活動は必要不可欠と考えている。

**上田危機管理課長** 12月に県と本町が防災講演会を計画している。

これに合わせて消防団、自衛隊の協力を得て防災訓練を実施できないか検討している。訓練内容、日程等については自衛隊側と調整中である。

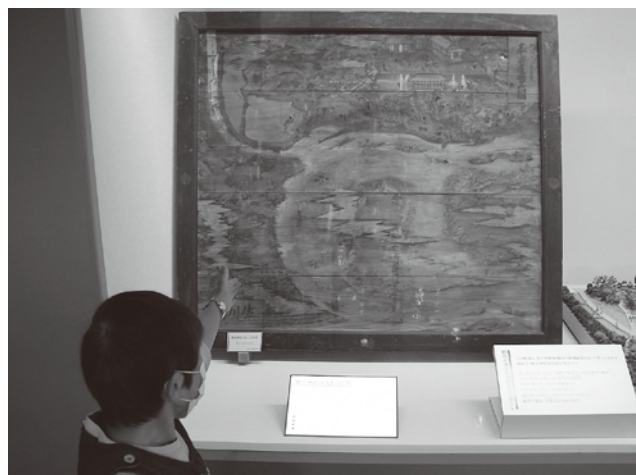
**問** 貴重な文化財の盗難被害を防止するため、防犯カメラの設置はできないか。

**文化財の保護**

**防犯カメラの設置を**

**現時点では難しい**

教育長



保護と活用のため博物館に展示されている横倉神社の絵馬

**山中教育長** 幾つかの課題があり、現時点で直ちに設置することは難しいと考えている。

今後関係者、関係機関と協議して検討していきたい。

**町長の政治姿勢  
2期目を目指すか**

**立候補する決意だ  
町長**

**問** 26年4月に町長就任以来、約3年半本町発展に全力で取り組んでこられ、その政治姿勢を高く評価する。

課題も山積しているが、30年4月に予定される町長選挙には、2期目を目指して出馬するのか。

**小田町長** 1期目は、本町創生に取り組み、町政浮揚にまい進してきた。本町は今、新たな挑戦を始めた。引き続き先導役をさせていただきたく、立候補する決意だ。



# 広域議会

第3回定例会が9月22日に開かれ、平成28年度各会計決算認定と工事請負契約の締結1件を賛成全員で認定・可決しました。

一般質問には、1人が登壇しました。

## 組合長報告

### 運営状況は安定

特別養護老人ホームの事業活動収支は、76万円の赤字となった。年度末にかけて、予想以上に医療機関への入院者が増え、稼働率が低下した。

赤字幅は少額であり、繰越金も横ばいで推移しており、運営状況は厳しさもあるが安定している。

### 定員割れを危惧

待機者は、構成町内の介護施設の充実もあり、9月1日現在で春日荘32人、五葉荘25人である。もみじ荘0人、あがわ荘1人で、定員割れを危惧する状況だ。

### 入所者の確保課題

構成町外での営業活動も行い、入所者確保に努力をしている。

## 決算認定(28年度)

会計名	歳入	歳出
一般会計	10億20万円	9億1584万円
特別会計	特別養護老人ホーム	11億5003万円
	養護老人ホーム	1億699万円
	障害者支援施設	1億5155万円
	ふるさと市町村圏	8万円
合計	27億2783万円	23億2449万円

## 質疑

### 今後の経営は

**斎議政広議員** 介護施設、福祉施設の今後を研究する時期になっている。特養の待機者がどんどん減っているが、養護では、特養対象者が大半を占めている。

30年度には、介護保険が見直しになるが、今後の経営をどのように考えているか。

### しっかり取り組む

大石組合長 特養、養護を取り巻く状況は、大変厳しい。

特養の待機者は徐々に減っており、養護も高齢化が進み介護度も重度化している。

春日荘の耐震化の問題もあるが、将来に向けた方向性をしっかりと見極めながら取り組んでいく。

《賛成・全員》

## 工事請負契約締結

### 清掃センター

基幹的施設整備工事

入札の方法

一般競争入札

契約金額

15億3360万円

契約相手

兵庫県姫路市

虹技(株) 山本幹雄

《賛成・全員》



32年3月25日に工事の完了を目指す清掃センター

## 一般質問

### 岡林 学 議員

### 職員数と職場環境

**問** 6月議会で、介護職員の採用試験合格者6人のうち、3人が辞退したとのことだが、理由は。また、その後採用はしたのか、人数は十分か。

### 10月に採用予定

**西村春日荘所長** 辞退された理由は把握していないが、その後試験を行い、10月1日に採用予定だ。特養の配置基準は、利用者3人に対し職員1人となっており、各施設とも基準を満たしている。

平成27年の公選法改正で、18歳から選挙権が与えられました。今号からの取材記事は若者に焦点を当て、高校生のインタビュー記事を掲載します。初回は須崎工業高校機械科3年生の岡柚樹さんと山崎英太さんに議長室に来ていただき、お話を伺いました。



写真右から 岡柚樹さん  
山崎英太さん

問 高校でも部活をされていますか。

岡 野球部に入っていました。山崎 バンドを組んでライブ活動をしています。

問 卒業後の進路はどうされますか。

岡 愛媛県の会社に就職が決まりました。山崎 僕は、香川県の会社に行きます。

問 今回の選挙は、行かれましたか。

岡 投票してきました。山崎 僕は、誕生日が来ないので、次の選挙には行きたいと思います。

問 越知町議会だよりは、読んだことがありますか。

岡 今日初めて見ました。山崎 僕も読んだことはなかったです。

問 スマホでも議会だよりが見られるよう、表紙や名刺にQRコードを付けたりホームページのリニューアルを検討しています。

山崎 今、実際にホームページをスマホで見ましたが、町のいろいろな情報、詳しく分かるので良いと思います。

岡 今日は持っていないので、帰ってから見てみます。

問 最後に、お二人の将来の夢を聞かせてください。

岡 お金を貯めて、早く家と車を買いたいです。山崎 僕は、就職後もライブ活動を続けたいと思っています。

※ 今日台風の中、お話を聞かせていただきありがとうございます。残りの学生生活も頑張ってください。(取材班)

## 議会を傍聴しませんか

9月定例会の傍聴者は延べ2人でした。次の定例会は12月8日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。

## 編集後記

2年に一度、東京での議会広報研修会に参加し、3人の講師から話を聞き、たくさん学ぶことができました。

毎回5人の委員で一生懸命編集しているが、今回学んだことを一つでも生かしたい。

議会の動きをなるべくだけアルに書き、読む・見るだけで伝わるようにしたいが、表現方法は日進月歩だ。新しい試みと、社会情勢に合った紙面づくりを追求している。

今号は、決算審査や7人が一般質問するなど盛りだくさんの内容だが、果たして伝わるのか、自問自答しながら作成した。仕上がりはどうか、ご意見などをお寄せください。

《斎藤》

編集・発行責任者	議長 岡林学
議会広報常任委員会	委員長 武智龍
	副委員長 高橋文一
	委員 斎藤政広
	委員 市原静子
	委員 小田範博

※分かりやすい紙面に心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。